

「幼児虐待を考える」シリーズ、今月

は、池田由子先生に書いていただきました。池田先生は、精神医学が御専門で、特に子どもの虐待についての御研究には、早くから取り組んでいらっしやいます。虐待する親の半数以上が、自分の親に虐待されて育ち、又、その子も自分の子どもに虐待を加える可能性をもつ、という連鎖は、どこかでたち切らなければならぬことだと思えます。最近、母親の育児不安、精神的ストレスなども、体罰へむかわせる要因になっているともききます。核家族、ストレス社会など、不安にさせる状況の中で、孤立せずに、人間関係を上手に育てていくことが必要なのでしょう。

＊

七月。今年ももう後半に入ってしまった。これからは、水遊びの楽しい季節です。子どもは水鉄砲が大好きです。ビューッといきおいよくふぎだす水にみんながにげまわる。バケツに一杯お水が

あれば、十分楽しめます。

以前、子ども達と一緒に水鉄砲を作ろうということになり、いろいろ考えたことがありました。夏なので竹が手に入りやすく、ジュースの缶で作ってみることにしました。缶の方は、フタを切りとって穴をあけるだけなので簡単です。でも意外と手間どったのは、棒の方でした。棒にボロきれをぐるぐる巻いて、缶の中にさし込み、何とか格好ができました。ところが、水鉄砲は水でぬらして使うものです。すっかり予想がはずれて、穴から水が出ずに手前から顔にビシャッとかがってしまいました。みんな、穴はもっと大きくしたら、とか、きれはきつく巻いた方がいいとか、あれこれいいながら、ようやく遊べるものができました。

最近ではタンクつきの大きなマシンガンのような水鉄砲もありますが、そんな高価なものでなくても、お風呂でお父さんの大きな手でビューッとしてもらうのも結構楽しいのではないでしょう。

幼児の教育

第九十巻 第七号
(一九九一年七月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

平成三年七月一日 発行

編集兼発行人 本田和子

発行所 日本幼稚園協会

東京都文京区大塚二―一―

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

東京都港区三田五―二―一

発売所 株式会社フレール館

東京都千代田区神田小川町三―一

振替口座 東京九―一九六四〇

電話 〇三―三三二九二―七七八一

●本誌購読のご注文は、発売所フレール館にお願いいたします。

●万一、落丁・乱丁などがございましたら、おとりかえいたします。